

# 世界史

(問題)

2020年度

〈R02140018〉

## 注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input checked="" type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

西欧文明の出発点となった古代ギリシアでは、哲学や自然科学が発展したほか、(A)演劇や叙事詩の分野で優れた作品が生み出された。古代ローマ時代には、文芸や美術においてはギリシアに及ばなかったものの、(B)カエサルのガリア遠征を記録した『ガリア戦記』など興味深い歴史書が書かれている。

中世に入ると、西ヨーロッパでは、(C)キリスト教と結びついた神学を中心に、様々な学問が発達する一方、美術の分野では、とりわけ(D)教会建築において多くの様式が誕生した。14世紀以降、ルネサンスが始まると、人文主義思想の広まりとともに、ヨーロッパ各地で多様な文芸と美術が花開いた。文芸の分野では、(E)セルバンテスなど、(F)現地の国語の発達に大きく貢献する作家も現れている。

17～18世紀の(G)宮廷文化を経て、19世紀に入ると、帝国主義と結びついて西欧文化は世界に広まり、ロマン主義、写実主義、自然主義、印象派など、様々な潮流が交錯する中で、(H)文学や美術の分野で多くの傑作が生み出された。20世紀には、シュールレアリスムを筆頭に革新的な芸術運動が沸き起こり、(I)一部の前衛芸術家や思想家は(J)社会変革の動きに共鳴することもあった。

問1 下線部(A)について、ギリシア演劇を代表する次の作品のうち、喜劇を1つ選べ。

- a. 『アガ멤ノン』
- b. 『オイディプス王』
- c. 『女の議会』
- d. 『メデシア』

問2 下線部(B)について、カエサルとガリア遠征に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. カエサルはガリア遠征で現在のイギリス・フランス・スペインにローマ文化をもたらした。
- b. カエサルはガリア遠征について書いた『ガリア戦記』にゲルマン人やケルト人の習俗を記録した。
- c. カエサルのガリア遠征に同行したタキトゥスは、後に『ゲルマニア』を執筆した。
- d. カエサルはガリア遠征の後にクラッススと対立し、これが原因で三頭政治が終わった。

問3 下線部(C)について、キリスト教神学に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. アウグスティヌスは『告白録』において、マニ教からキリスト教に改宗するまでのいきさつを記した。
- b. ベネディクトゥスは「清貧・純潔・服従」の戒律を定め、ブルゴーニュに修道院を建てた。
- c. トマス=アクィナスはアリストテレスの哲学を取り入れてスコラ学を大成し、大作『神の国』を残した。
- d. ウィクリフは聖書こそ信仰の基本であると主張し、ドイツ人司教と対立して焚刑に処された。

問4 下線部(D)について、次の教会と様式の組み合わせのうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. サン=ピエトロ聖堂—ロマネスク様式
- b. ヴォルムス大聖堂—ゴシック様式
- c. ノートルダム大聖堂—ルネサンス様式
- d. サン=ヴィターレ聖堂—ビザンツ様式

問5 下線部(E)について、セルバンテスが実際に参加した歴史的イベントを次から1つ選べ。

- a. プレヴェザの海戦
- b. ユグノー戦争
- c. オランダ独立戦争
- d. レパントの海戦

問6 下線部（F）についてヨーロッパ諸国の言語に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. ボッカチオが活躍したトスカナ地方の口語は、後にイタリアの標準語となった。
- b. ルターはヴィッテンベルク大学で聖書をドイツ語に翻訳し、近代ドイツ語の確立を促した。
- c. シェークスピアは代表作『カンタベリ物語』など、多くの小説作品を英語で執筆した。
- d. ルイ14世の統治下に創設されたアカデミー＝フランセーズは、フランス語を洗練させた。

問7 下線部（G）について、宮廷文化に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. フランドル派の画家ルーベンスは、イギリスの宮廷画家となって、肖像画の傑作を多く残した。
- b. 古典主義を代表する劇作家モリエールは、人間の偽善を鋭く風刺し、『フェードル』などの作品を残した。
- c. ロココ美術を代表する画家ワトーは、貴族の生活を優雅に描き出し、「シテール島への巡礼」などの作品を残した。
- d. バロック音楽を確立したモーツァルトは、幼少から神童ぶりを発揮し、『魔笛』などオペラの名作を残した。

問8 下線部（H）について、次の作者と作品、関連する歴史的イベントの組み合わせのうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. ゴヤー「1808年5月3日」ートラファルガーの海戦
- b. ドラクロワ「民衆を率いる自由の女神」ーブリュメール18日のクーデタ
- c. バルザック『赤と黒』ー王政復古
- d. トルストイ『戦争と平和』ーアウステルリッツの戦い

問9 下線部（I）について、20世紀の芸術家・思想家に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 第一次世界大戦における破壊に衝撃を受けたシュペングラーは、『魔の山』においてキリスト教文明の終焉を予告した。
- b. ファシズムの台頭に失望したピカソは、スペイン内戦後にその悲劇を大作「ゲルニカ」に描き出した。
- c. メキシコ革命を経験したシケイロスは、壁画運動のリーダーとして国内の文化活動を盛り上げた。
- d. パレスチナ問題で西欧中心主義を正当化したサイードは、『オリエンタリズム』によってポスト=コロニアル研究を提唱した。

問10 下線部（J）について、次の社会変革を、勃発した順に正しく並べたものを選べ。

- ① コンゴ動乱
  - ② キューバ革命
  - ③ プラハの春
  - ④ アルジェリア独立
- a. ②—③—①—④
  - b. ②—①—③—④
  - c. ④—②—①—③
  - d. ②—①—④—③

## II

次の【A】【B】の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

【A】 東南アジアは、古くから香辛料や香木などの貴重な商品を産出し、(A)インドから中国に至る海上交易ルートにおける貿易センターの役割を果たした。8世紀頃からはムスリム商人が進出して活発な交易活動をおこなうようになり、15世紀に(B)マラッカ王国の王がイスラームに改宗したことを契機に東南アジアのイスラーム化が進行した。16世紀から17世紀の東南アジアには、ムスリム商人やヒンドゥー商人に加えて、(C)ヨーロッパ人や(D)中国人、(E)日本人が多数来航して活発な商業活動を展開した。

【B】 20世紀初頭の東南アジアは(F)タイを除くほとんどの地域がヨーロッパの植民地支配下にあったが、この頃から植民地支配に対する民族運動が形成された。オランダ領の(G)インドネシアでは、近代教育を受けた知識人たちの間で民族的自覚がうまれた。(H)アメリカ合衆国の支配下におかれたフィリピンでは、行政などについてフィリピン人への権限委譲がすすんだ。フランスの植民地支配下におかれた(I)ベトナムでも独立運動がおこなわれ、(J)明治維新後に近代化をすすめた日本から新しい学問を学ぼうとする運動が組織された。

問1 下線部(A)について、東南アジアに対するインドの影響に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- メコン川下流域に建国された扶南の港オケオからは、ローマ貨幣やインドの神像が出土している。
- アンコール=ワットは、12世紀に仏教寺院として造営され、のちにヒンドゥー寺院に改修された。
- ジャワ中部に成立したシャイレンドラ朝では、ヒンドゥー寺院であるボロボドゥールが建造された。
- チャオプラヤ川下流域に成立したドヴァーラヴァティーでは、大乘仏教が信仰された。

問2 下線部(B)について、マラッカ王国に関する次の説明のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- 朝貢を求めて侵攻してきた元軍の干渉を退けた。
- タイのクディリ朝への従属から脱し、明に朝貢した。
- 王都マラッカは鄭和の南海遠征の補給基地となった。
- オランダの侵攻を受けて衰退した。

問3 下線部(C)について、16～17世紀のヨーロッパの海外進出に関連する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- 1511年、ポルトガルはスマトラ島北部のアチェ王国を占領して、東南アジアにおける香辛料交易の拠点とした。
- スペインは、カルロス1世の治世下でフィリピンを征服し、マニラを拠点としてメキシコのアカプルコとガレオン貿易をおこなった。
- ルイ13世の治世下で財務総監となったコルベールは、事実上活動を停止していた東インド会社を1664年に再建した。
- オランダの法学者グロティウスは『海洋自由論』を著し、オランダの国際貿易の発展を背景として、海洋航行の自由を主張した。

問4 下線部(D)について、16～17世紀の中国に関する次の記述のうち、適切でないものを1つ選べ。

- 倭寇による密貿易や略奪がおこなわれ、明王朝は16世紀中頃に海禁政策を強化した。
- モンゴルのアルタン=ハンは万里の長城をこえて侵入したが、その後、明王朝と和議を結んだ。
- 徐光啓の編纂した『農政全書』では、綿・絹などの商品作物の詳解がおこなわれ、ヨーロッパの知識や技術が導入された。
- 税や徭役を銀に一本化してまとめて納税する一条鞭法の改革が実施された。

問5 下線部（E）について、16～17世紀の日本に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 豊臣秀吉は大陸進出を目指して朝鮮に侵攻したが、李舜臣の率いる水軍や清王朝が朝鮮におくった援軍の攻撃により失敗した。
- b. 17世紀初頭の江戸幕府は貿易奨励の方針をとり、日本の貿易船のみでなく外国船にも渡航許可証である朱印状を与えた。
- c. 琉球王国は、17世紀初頭に薩摩の大名島津氏によって制圧された後、琉球藩として江戸幕府の統治下に入った。
- d. 江戸幕府は、キリスト教の禁止と貿易独占による幕藩体制強化を目的として、1641年以降、オランダや清との貿易を平戸に限定した。

問6 下線部（F）について、タイの国王チュラロンコン(ラーマ5世)がおこなった改革として、適切でないものを1つ選べ。

- a. 鉄道の敷設
- b. 行政・軍事の西欧化
- c. 立憲君主制への移行
- d. 奴隷制度の廃止

問7 下線部（G）について、インドネシアに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. イスラーム同盟は、民族独立や社会主義を掲げて1910年代の民族運動を主導した。
- b. インドネシア国民党は、1926年に武装蜂起を起こしたが植民地政庁に鎮圧された。
- c. 太平洋戦争が起きると、スカルノは日本の援助によりインドネシア共和国大統領に就任した。
- d. 1965年の九・三〇事件の後、スハルトを大統領とする共産党政権が成立した。

問8 下線部（H）について、フィリピンの独立が達成された年を選べ。

- a. 1907年
- b. 1934年
- c. 1935年
- d. 1946年

問9 下線部（I）について、ベトナムの独立運動に関する出来事を年代順に正しく並べたものを選べ。

- ① ベトナム独立同盟会の結成
  - ② ベトナム光復会の結成
  - ③ インドシナ共産党の結成
  - ④ 維新会の結成
  - ⑤ ベトナム青年革命同志会の結成
- a. ④—①—⑤—②—③
  - b. ④—②—⑤—①—③
  - c. ④—②—⑤—③—①
  - d. ④—③—⑤—②—①

問10 下線部（J）について、明治維新後の日本に関する出来事を年代順に正しく並べたものを選べ。

- ① 大日本帝国憲法の発布
  - ② 江華条約の締結
  - ③ 日清修好条規の締結
  - ④ 第1回帝国議会の開会
  - ⑤ 樺太・千島交換条約の締結
- a. ②—⑤—③—④—①
  - b. ⑤—②—③—①—④
  - c. ⑤—③—②—④—①
  - d. ③—⑤—②—①—④

Ⅲ 次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

国民国家の形成に伴い、各地で国民意識の高まりやナショナリズムの動きがみられるようになったヨーロッパでは、19世紀後半になると、(A)第1インターナショナルなどの国際的な連帯を求め、国境を越えて協力しあう運動も盛んになった。

そうした国際的な動きのひとつである国際オリンピック大会は、イギリスのスポーツ教育に影響を受けた、(B)フランスのクーベルタンが、ナショナリズムに対抗する国際主義の理念のもと提唱した。当時のフランスでは、(C)都市の生活環境も改善し、近代的な都市文化が誕生し、市民文化が成熟しつつあった。そして、(D)1880年代以降、第三共和政による支配が確立していった。そうした社会状況において、(E)1894年にパリの(F)万国博覧会に際して開かれたスポーツ競技者連合の会議で、クーベルタンは(G)オリンピアの祭典を復活させようとよびかけた。ちょうど19世紀後半からヨーロッパでは、(H)古代ギリシア遺跡に関する考古学的発見が相次ぎ、スポーツ愛好家たちによるオリンピックの復活の試みがアメリカ・イギリス・ギリシアなどで実践されていた。こうした状況から彼の提案は支持され、1896年に第1回国際オリンピック大会を(I)ギリシアのアテネで開催することに成功した。第2回大会は(J)1900年にパリで開催され、その後4年ごとに開催されることとなった。

このように国際オリンピック大会は、スポーツを通じた国際親善と平和を目的としている一方で、大会開催国に競技場の建設をはじめとしたインフラストラクチャーの整備など経済成長をもたらした。また、選手や観客が国民としての一体感や愛国心を抱くことは、各人が属する国家を意識するような国家主義と結びつきかねず、クーベルタンの理想に反して、ナショナリズムを強めることにもなった。

問1 下線部（A）について、第1インターナショナルに関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 第1インターナショナルは、1864年にロンドンで開催された国際労働者集会で設立された。
- b. 第1インターナショナルの設立宣言を起草した後、マルクスはエンゲルスとともに『共産党宣言』を発表した。
- c. 第1インターナショナルに参加した無政府主義者のブルードンは、フランスのサンディカリズムに影響を与えた。
- d. 第1インターナショナルには、アジアから日本が加盟した。

問2 下線部（B）について、第二帝政期のフランスが関与した出来事を年代順に正しく並べたものを選べ。

- ① アロー戦争勃発
  - ② インドシナ出兵開始
  - ③ クリミア戦争勃発
  - ④ メキシコ出兵開始
- a. ①—③—④—②
  - b. ③—①—②—④
  - c. ③—②—①—④
  - d. ①—④—③—②

問3 下線部（C）について、フランスの都市文化に関する記述のうち、適切でないものを選べ。

- a. セーヌ県知事オスマンは、パリの街に環状道路と放射状に走る道路網を整備した。
- b. セーヌ県知事オスマンは、公衆衛生の改善のためパリにおいて地下上下水道を建設した。
- c. 1863年に、世界初の地下鉄がパリで開通した。
- d. 1895年にリュミエール兄弟によって上映されて以後、映画が大衆娯楽として発展した。

問4 下線部（D）に関連して、第三共和政時代の出来事に関する記述のうち、最も適切なものを選べ。

- a. バスティュー襲撃日の7月14日を国民祝祭日に定めるなど、フランス革命を原点とする国民統合がすすめられた。
- b. 対独強硬発言で民衆に人気のあったブーランジェ陸相は、クーデタによって政権奪取をおこなった。
- c. 1875年に制定された第三共和国憲法のもと、男子直接普通選挙で大統領が選出された。
- d. 共和派は1880年に政教分離法を制定させ、王党派およびカトリック勢力の政治への介入を排除することに成功した。

問5 下線部（E）について、この年に起こったユダヤ系軍人に対するスパイ容疑の冤罪を訴えたフランスの作家を1人選べ。

- a. ヴィクトル＝ユゴー
- b. ゾラ
- c. バルザック
- d. ボードレール

問6 下線部（F）について、万国博覧会に関する記述のうち、最も適切なものを選べ。

- a. 1851年に、ロンドンで第1回万国博覧会が開催され、総ガラス張りの「水晶宮」が話題となった。
- b. 1853年、第2回万国博覧会はアメリカの首都ワシントンで開催された。
- c. 1873年のパリ万国博覧会に、明治新政府となった日本は初めて参加した。
- d. 1900年のウィーン万国博覧会では、第2次産業革命を代表する石油と電力をふんだんに使い、「電気の世紀」の幕開けとなった。

問7 下線部（G）について、下の地図の中からオリンピアの正しい場所を示した記号を1つ選べ。



問8 下線部（H）について、ミケーネの遺跡を発掘した人物を1人選べ。

- a. ヴェントリス
- b. エヴァンズ
- c. クルチウス
- d. シュリーマン

問9 下線部（I）について、ギリシアの独立戦争に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. フランス革命の影響を受けて、ギリシア独立運動が始まった。
- b. イギリス・ロシア・フランスがギリシア支援を表明すると、オスマン帝国はエジプトに派兵を要請した。
- c. イギリスのロマン派詩人ハイネはギリシア独立戦争に参加した。
- d. 1830年のロンドン会議でアドリアノーブル条約が締結されたことにより、ギリシアの独立が国際的に承認された。

問10 下線部（J）について、1900年前後のヨーロッパの社会状況に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 20世紀初頭にコッホが結核菌を発見し、予防医学や公衆衛生の知識が進んだ。
- b. イギリスの植民相となったローズは、国内社会問題の解決に植民地が必要と考え、1899年に南アフリカ戦争をおこした。
- c. フランスの社会民主党は、議会主義的改革を重視する立場から方針を変え、マルクス主義に基づく革命による社会主義の実現をめざした。
- d. フェビアン協会や労働組合などが、イギリス労働党の前身である労働代表委員会を1900年に結成した。

## IV

次の文章を読み、問1～10について、各設問の指示に従って選択肢の中から解答を選び、その記号をマーク解答用紙にマークせよ。

17世紀から18世紀にかけての東アジア国際秩序の維持において中心的役割を果たした中国の清王朝は、19世紀半ば以降は欧米諸国のアジア進出や国内の近代化の遅れによって弱体化していった。(A)アヘン戦争とアロー戦争での敗北をきっかけに、清と(B)欧米諸国との国際関係にも大きな変化がみられた。また、(C)琉球や朝鮮をめぐる対立を深めていた日本との間で勃発した(D)日清戦争での敗北は、清王朝領土内での(E)列強の利権獲得競争をさらに押し進めた。

この間、清王朝内部では、(F)洋務運動や戊戌の変法など近代化の試みも見られたが、保守派の抵抗もあり、限界を伴っていた。1900年の(G)義和団事件での敗北は、清王朝の打倒をめざす機運を(H)孫文ら革命家の間で高めた。こうした中で(I)1911年に起きた辛亥革命によって宣統帝が退位し、約300年間にわたって存続した清王朝は滅亡した。その後、第一次世界大戦を経て、中国は軍閥の分立および国民党と共産党の対立を軸とする(J)内戦の時代を迎えることとなった。

問1 下線部(A)について、アヘン戦争とアロー戦争に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- アヘン戦争の背景には、清からの大量の綿輸入に伴うイギリス側の対清貿易赤字の深刻化があった。
- インド産アヘンの密貿易を取り締まるために、乾隆帝は林則徐を欽差大臣に任命した。
- アロー戦争の要因のひとつには、広西で起こったイギリス人宣教師殺害事件があった。
- 清の公羊学者魏源が両戦争にまたがる時代の世界情勢を記した地理書『海国図志』は、日本でも大きな影響を与えた。

問2 下線部(B)について、清と欧米諸国との国際関係に変化をもたらした一連の条約に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- 南京条約で5港の開港や公行の廃止など英清間の貿易自由化が促進されたことで、イギリス側の対清貿易赤字は大きく解消された。
- 虎門寨追加条約では、英清間の関係強化のために、イギリスと清は互いに最恵国待遇を承認した。
- アロー戦争後の天津条約と北京条約で欧米諸国の対清貿易の自由化が進んだ一方で、アヘン貿易は正式に禁止された。
- 北京条約でロシアは沿海州を獲得し、ムラヴィヨフの指揮のもと極東政策の拠点となるウラジヴォストークを建設した。

問3 下線部(C)について、琉球や朝鮮に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- 明治政府は、琉球王国の清に対する冊封・朝貢関係を断絶させた上で、1872年には沖縄県を設置し、国土編入を強行した。
- 台湾に漂着した琉球島民が漢民族系台湾人に殺害されたことをきっかけに、明治政府は台湾出兵をおこない、台湾支配の足がかりを作った。
- 19世紀初頭の朝鮮半島では、没落官人の洪景来に指導された農民反乱が起こるなど、政治・社会の不安定化が進んだ。
- 日本は閔氏政権の要人が殺害された壬午軍乱を鎮圧した一方で、朝鮮半島での清との対立を深めた。

問4 下線部（D）について、日清戦争に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 19世紀末の朝鮮半島では、キリスト教系の新興宗教である東学の幹部たった全琫準が、甲午農民戦争を起した。
- b. 甲午農民戦争への出兵をきっかけとする日清戦争は日本の勝利に終わり、1895年に天津条約が結ばれた。
- c. 日清戦争の結果、清は開港場での日本の企業設立権および朝鮮の独立を認めた。
- d. 日清戦争の結果、日本は遼東半島を獲得したが、ロシア・ドイツ・イギリスは返還を勧告した。

問5 下線部（E）について、日清戦争後から20世紀初頭にかけて列強諸国が清王朝の領土内で獲得した勢力圏として、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 満州—ロシア、山東地方—ドイツ、広東東部・長江流域—フランス、広東西部・広西地方・雲南地方—イギリス
- b. 満州—ロシア、山東地方—ドイツ、広東東部・長江流域—イギリス、広東西部・広西地方・雲南地方—フランス
- c. 満州—ドイツ、山東地方—ロシア、広東東部・長江流域—イギリス、広東西部・広西地方・雲南地方—フランス
- d. 満州—ドイツ、山東地方—ロシア、広東東部・長江流域—フランス、広東西部・広西地方・雲南地方—イギリス

問6 下線部（F）について、清王朝の近代化の試みに関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. アロー戦争および太平天国の滅亡後、洋務運動が起こったが、軍事面の近代化に偏重し、思想や学問、軽工業の近代化はおこなわれなかった。
- b. 日清戦争敗北後、洋務運動の限界を悟った康有為や梁啓超ら官僚によって、共和制に向けた変法が試みられた。
- c. 西太后ら保守派が戊戌の政変を起こし、康有為や梁啓超らを幽閉したために、変法は失敗に終わった。
- d. 義和団事件後、西太后政権の下で、科挙の廃止や、日本の明治憲法を模範とする憲法大綱の制定など、光緒新政と呼ばれる改革が試みられた。

問7 下線部（G）について、義和団事件に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 山東省の農村地帯を基盤にあらわれた宗教結社の義和団は、鉄道やキリスト教の教会を破壊するなど排外運動を展開した。
- b. 清王朝は義和団の鎮圧を当初試みたが失敗し、列強に共同出兵を要請した。
- c. イギリスは当初、南アフリカ戦争中であったために中国への派兵に消極的であったか、自国の外交官が殺害されたことで、共同出兵に名を連ねた。
- d. 義和団事件後に結ばれた北京議定書によって、ロシアは東北三省の駐留権を得た。

問8 下線部（H）について、孫文に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- a. 三民主義を唱え、立憲君主制に基づく民権の伸長を訴えた。
- b. 清王朝に代わる異民族王朝の樹立を旨とし、五族共和の理念を考案した。
- c. アジア最初の共和国である中華民国の臨時大総統に就任した。
- d. 第一次世界大戦後は中華革命党を組織し、軍閥の打倒を目指した。

問9 下線部（I）について、1911年に世界で起こった出来事のうち、適切でないものを1つ選べ。

- a. イギリスで国民保険法が成立した。
- b. ガンディーが「塩の行進」を組織した。
- c. 第二次モロッコ事件が勃発した。
- d. メキシコ革命によりディアス大統領が亡命した。

問10 下線部（J）について、第一次世界大戦後の中国国内の内戦に関わる出来事を年代順に正しく並べたものを選び。

- ① 南京国民政府成立
- ② 広州国民政府成立
- ③ 張学良が国民政府に帰順
- ④ 張作霖爆殺事件
- ⑤ 柳条湖事件

- a. ①—③—②—⑤—④
- b. ①—④—③—②—⑤
- c. ②—①—④—③—⑤
- d. ②—③—①—⑤—④

[以下余白]